



健康診断受診ガイド

【2025年1月30日 第1版】



～ 健診を受ける前に必ずご確認ください ～

＜ 健診資料、採尿・採便キットについて ＞

- ◇ 受診票・問診票の記載内容にお間違いがないかご確認ください。
万が一、訂正および変更がございましたら、訂正箇所が分かるように赤字等で修正のうえ、健診当日受付にお申し出ください。
- ◇ 尿キットが同封されている方は、当日の早朝尿をお採りください。同封されていない方は、施設内採尿となりますので、検査直前の排尿はせずに受付までお越しください。
- ◇ 便キットが同封されている方は、詳しい採取方法が次ページに記載されておりますのでご確認ください。

＜ ご予約について ＞

- ◇ 予約時間に合わせてお越しください。早くお越し頂いてもお待ちいただくこととなりますのでご了承ください。
- ◇ 予約時間に遅れた場合、一部ご受診いただけない検査がございますのでご注意ください。
- ◇ 日時の変更やキャンセル、検査項目の追加・キャンセルは事前に専用ダイヤルにお電話ください。
- ◇ 受付での直接のご予約は承っておりません。ご予約の際は専用ダイヤルにお電話ください。
【予約専用ダイヤル】 044-277-5762 （受付時間 8:00～16:00）

＜ 当日持参していただくもの ＞

- ・ 受診票 ・ 問診票（必ずご記入ください）
 - ・ 健康保険証またはマイナンバーカード（健康保険証と紐付けされているもの）
 - ・ 眼鏡（ある方のみ） ・ 検便（ある方のみ） ・ お薬手帳（服薬のわかる物）
- ※ご予約いただいたコースによっては、オプション検査申込書、健康保険組合発行の受診券が必要です。
※多額の現金やアクセサリー等の高価な貴金属類の持ち込みはご遠慮ください。
万が一、盗難・紛失・破損した場合、当院では一切の責任を負いかねます。

＜ 健診費用のお支払について ＞

- ◇ 健診当日、窓口でお支払が発生する場合は「現金」または「クレジットカード（一括払いのみ）」にてお支払ください。電子マネーはご利用いただけません。

＜お取り扱いカード＞



- ◇ 胃内視鏡検査時に必要に応じて病理組織検査(生検)、ピロリ菌検査をすすめられる場合があります。病理組織検査5,000円程度、ピロリ菌検査3,000円程度の別途費用のお支払いが発生します。
- ◇ 検査中もしくは検査後に偶発的に起こった症状により医療機関（当院を含む）を受診した場合は全て保険診療となります。

- ※女性の方へ ◇ **妊娠中の方・妊娠の可能性のある方・授乳中の方は実施できない検査がございます。健診当日、受付に必ずお申し出ください。**
- ◇ 生理中の方は、日程変更をお願いいたします。
検査内容によっては受診可能ですが、正しい検査結果が得られない可能性があります。

医療法人社団 葵会 AOI国際病院 健康管理センター

予約専用ダイヤル 044-277-5762

詳しくはホームページをご覧ください

〒210-0822 神奈川県川崎市川崎区田町2-9-1

予約受付時間：平日 8:00～16:00 / 土曜（第1～第3）8:00～16:00



～ 健診を受ける前に必ずご確認ください ～



〈 受診時のお願い 〉

- ◇ 発熱(37.5℃以上)されている方、体調不良の方は健康診断を受診できません。
- ◇ 健康診断受診中はみなさまに「**不織布マスク着用**」をお願いしております。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈 問診票について 〉

- ◇ 受診される前に必ず回答をお願いします。
※その他検査（婦人科、胃部内視鏡など）の問診票が同封されている場合はあわせてご回答をお願いします。
- ◇ 右下の同意書の欄にご署名をお願いします。

【記入上の注意】

- ・食事の欄は健診当日の状況を記入してください。
- ・『病気について』の欄で「手術歴」がある場合は、受診歴の該当項目（以前/服薬中/経過観察）のいずれかを選択し黒く塗りつぶしてください。

便潜血検査をご受診の方へ

便は健診当日含め**7日以内**に採取し、当日受付にご提出ください。

不可	← 採取可 →						
8日以内	7日以内	6日以内	5日以内	4日以内	3日以内	2日以内	健診当日
×	○	○	○	○	○	○	○

※検査項目により「1回法」と「2回法」がございます。採取期間は上記のとおりです。

- ◇ 便を採取する際は、提出用袋内の「正しい便の採り方」の説明書をご確認の上採取してください。
- ◇ 袋および容器ともにお名前、性別、年齢、採取年月日・時間を忘れずにご記入ください。
- ◇ 採取した検便は必ず**当日**ご持参ください。郵送でのお取り扱いはありません。（検便の後日提出についてはお受付できかねます）
- ◇ 採取した容器は提出用袋に入れ、できるだけ低温で暗い場所に保管し、暖かい場所での保管は避けてください。
- ◇ **痔からの出血がある時は採取しないでください。（陽性になる場合があります。）**
- ◇ バリウムを飲んだ後に採取した便は検査できませんので、必ず検査前に採取してください。



※女性の方へ ◇ 生理時の便はお預かりできません。健診日程の変更等ご相談ください。

〈 健診結果について 〉

- ◇ 検査結果は、受診日より2～3週間後に送付いたします。なお、年末年始など長期休業期間をはさむ場合や検査の内容により、上記日程以上にお時間を頂戴する場合がございますので予めご了承ください。
- ◇ 結果報告書の再発行、健診画像（CD）の提供、各種証明書の発行には別途費用がかかります。詳しくは担当者までお問い合わせください。

飲食の制限について

同封の受診票にて健康診断の検査項目をご確認ください

次の検査項目がある方は飲食の制限がございますので必ずお守りください。

○胃部レントゲン(バリウム)検査 ○胃内視鏡(胃カメラ)検査 ○腹部超音波検査 ○血液検査 ○尿検査

飲食できるのは健診開始の10時間前までです。

油もの・卵・牛乳などは避け消化の良い軽いものでお済ませください。

当日は絶飲・絶食でお越しください。飴やガム、味見も厳禁です。

● 午前の時間帯で健診を受診される方へ

		健診前日の午後9時以降	健診当日
食事		✗ 絶食	✗ 絶食
水分 (水or白湯のみ)		○ 摂取可能	✗ 絶飲 健診の2時間前まで コップ1杯の水に限り可
お酒		✗ 禁酒	✗ 禁酒
タバコ		✗ 禁煙	✗ 禁煙
お薬		○ 服用可能(※1)	△ 高血圧症、てんかんの 薬のみ服用可(※2)

● 午後の時間帯で健診を受診される方へ

		受付の10時間前まで	受付まで10時間未満
食事		△ 消化の良い 軽いものは可	✗ 絶食
水分 (水or白湯のみ)		○ 摂取可能	✗ 絶飲 健診の2時間前まで コップ1杯の水に限り可
お酒		✗ 禁酒	✗ 禁酒
タバコ		✗ 禁煙	✗ 禁煙
お薬		△ 高血圧症、てんかんの 薬のみ服用可(※2)	△ 高血圧症、てんかんの 薬のみ服用可(※2)

(※1) 当日、糖尿病薬を服用している方やインスリン注射を使用している方は、一部検査ができない場合があります。

(※2) 高血圧症、抗てんかん薬、向精神薬など、時間で服薬を指示されている薬を服用の方は、受診の2時間前までにコップ1杯(200ml)のお水または白湯で服用してください。

レントゲン検査をご受診の方へ ①

● 胸部レントゲン検査

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
胸部レントゲン検査	背部から胸部にX線を照射し、肺や心臓、両肺の間にある縦郭などの器官の異常が無いかを調べます。息を吸い込むことにより肺が広がり、肺の構造が写りやすくなります。	肺結核、肺炎、肺気腫、自然気胸、肺がんなどの肺の病気、心肥大、弁膜症、先天性心疾患などの心臓病の発見や診断に欠かすことのできない検査です。

受診時の注意点（着衣について）

- ◇ レントゲン写真に写りますので、金属・プラスチックのついた衣類・装飾品、シャツのプリントや厚手の衣類なども検査着に着替えていただきます。
(ネックレス・ボタン・ブラジャーのホックや肩ストラップに調節具がついた下着・スパンコール、プラスチックがついた衣類・プリントがある衣類・厚手の衣類 など)
- ◇ 体を締めつける下着(補正下着など)は避けてください。

着脱しやすい服装でのご受診をお願いします



レントゲン撮影時の NG

※ 湿布、磁器テープ、カイロの貼りつけもNGです。



ネックレス



ボタン



プラスチック



プリント・柄もの



装飾



下記の項目に該当する方は胸部レントゲン検査を受けることができません。



- 妊娠中、または妊娠の可能性がある
(健康診断の胸部撮影で受ける医療被ばくは少なく、人体に影響を及ぼすことはありません。ただし、胎児は放射線の影響を受けやすいと言われています。)
- 持続グルコース測定器、またはインスリンポンプを装着している
(ただし主治医と相談の上、測定器を外していただければ検査は可能です。当院スタッフによるセンサーの取り外しは行っておりません。)
※日本糖尿病学会の安全基準に基づき、令和7年4月より当健診センターの安全基準を改定しました。



<以下の項目に該当した場合は安全のため、検査前にお申し出ください>

- 一定の時間、撮影装置につかまり自力で立つことが困難な方

レントゲン検査をご受診の方へ ②

● 胃部レントゲン検査

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
胃部レントゲン検査	胃部レントゲン検査は、造影剤（バリウム）を飲み上腹部にX線を照射して、食道から胃、十二指腸までの形や粘膜面の状態を観察します。	食道、胃、十二指腸の病気の発見と診断のために行われます。特に、食道がん、胃がん、胃・十二指腸潰瘍の診断に欠かせない検査です。

受診時の注意点

1 食事 飲食できるのは検査開始の10時間前までです。

- ◇ 午後から検査の方は朝食・昼食を摂取する事が出来ません。
- ◇ 当日の飲水(水、白湯)は検査開始の2時間前に200ml(コップ1杯程度)は摂っていただいて結構です。

2 薬 検査当日の内服について ※薬の服用について不安がある方は主治医にご相談ください。

- ◇ 当日、糖尿病薬を服用された方、インスリン注射を使用された方は、禁食により低血糖を生じて危険な状態になる恐れがあるため、検査を実施することが出来ません。
- ◇ 心臓病・高血圧の薬を服用されている方は検査開始の2時間前までに200ml(コップ1杯程度)の水、白湯で飲んでください。 ※それ以外の薬は検査後にお飲みください。

3 検査の方法 バリウムを使用した検査です。

- ◇ 初めに発泡剤で胃を膨らませて、バリウムを飲みます。胃が膨らんだ状態で撮影するのでゲップを我慢してください。
- ◇ 胃壁にバリウムを付着させるため、撮影台の上で何回も回転していただき、色々な角度で撮影します。

4 下剤服用のお願い

胃部レントゲン検査終了後、**下剤4錠(2回分)**をお渡しいたします。

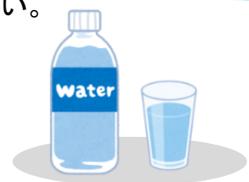
※便秘気味で、さらに下剤が必要な場合は、受付で追加の下剤を受け取ってください。

《服用方法》

1. 下剤は、検査のために服用したバリウムをすみやかに排泄するためのお薬です。
2. 胃部レントゲン検査終了後、なるべく早く、多めの水または白湯で2錠を服用してください。

《服用後の注意事項》

1. 下剤服用後も、通常の便に戻るまでは必ず多くの水分を摂ってください。
2. 検査当日の食事は通常通り摂ってください。
3. 8時間経過しても下剤の効果がみられない場合は、追加で2錠服用してください。
4. アルコールによる脱水症状で、便秘・排便困難の原因になる場合がありますので、通常の便に戻るまでアルコールの摂取は控えてください。
5. 下剤服用後、嘔吐、嘔気、腹痛、腹部膨満感などの症状が現れた場合、および24時間以上経過してもバリウム便が排泄されない場合、バリウムが腸管に滞留している可能性もありますので、最寄りの医療機関にご相談ください。





下記の項目に該当する方は胃部バリウム検査を受けることができません。



- 検査**10時間以内**に食事をした
- バリウム・発泡剤・下剤のアレルギーがある
- 検査当日を含め、**5日以上**排便がない
- 体重が**120kg**を超えている
- 【女性のみ】 妊娠中、または妊娠の可能性がある
- 当日、喘息発作中、または頻回にある
- メニエール病の治療中
- 当日、心臓病または血圧の薬を飲み忘れた
- 当日、糖尿病治療薬を使用した（禁食により低血糖を生じる危険性があるため）
- 当日、血圧が最高血圧**180mmHg以上**、最低血圧**110mmHg以上**（いずれかが超えている）
- 持続グルコース測定器、またはインスリンポンプを装着している
(主治医と相談の上、外していただければ検査は可能です。当院スタッフによるセンサーの取り外しは行っておりません)
- 心不全・腎不全・慢性腎疾患透析中（腹膜透析を含む）などで水分制限がある
(バリウム排出困難が予想されるため)
- シェント術を行っている（脳疾患・腎疾患など）
- 1年以内**に発作があった（脳血管障害・虚血性心疾患・てんかん）
- 1年以内**に手術を受けた（開頭手術・開胸手術・開腹手術・消化管手術・腹腔鏡手術・整形外科の手術・カテーテル手術・帝王切開など）
- 過去に消化管手術の既往歴があり、そのために定期受診をしている
(主治医の許可があれば検査可能です)
- 腸閉塞・腸ねん転・消化管穿孔の既往がある、または憩室炎・炎症性腸疾患で治療中
- 大腸ポリープを**2か月以内**に切除した
- 骨折をして、まだ治癒していない
- 腹部にペースメーカーを装着している
- 自分の力で立っていることが困難、体位変換が困難
- 日本語がわからない方（通訳ができる方が付き添える場合は検査は可能です）



<以下の項目に該当した場合は安全のため、検査前にお申し出ください>

- 普段からむせる
- 以前バリウムが気管に入ってしまったことがある
- 胃の手術を受けたことがある
- 過去の検査時に具合が悪くなったことがある
- 1年以内にめまいや脳貧血で倒れたことがある
- 脳卒中などによる麻痺や運動障害がある
- 植込み型除細動器（ICD）を装着している
- 授乳中（授乳時でも安全に使用できる下剤をお渡しします）

※ 日本消化器がん検診学会・日本糖尿病学会の安全基準に基づき、令和7年4月より当健診センターの安全基準を改定しました。医師の判断により、検査の延期やお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください。

放射線検査の医療被ばくに関するご説明

健康診断では人体に影響があると言われている放射線（X線）を使って検査を行っています。
胸部レントゲン、胃部レントゲン（バリウム検査）、マンモグラフィ、骨密度検査、CT検査などが放射線を使用しています。
その検査は、受診者様の病気の発見や正しい診断をするために行うものです。
健康診断で使用する放射線の量は、体に影響が出ると言われている量よりもはるかに少ない量を使用しています。
そして必要な場所のみ必要最小限の放射線量で病気を見つけ、正しい判断ができるように検査を行っていますので
安心して検査をお受けください。
放射線検査について不安やご質問等ありましたら、お気軽にご相談ください。

1、放射線検査の必要性

検査による放射線が人体にあたえる影響よりも、検査を受けることによる利益が上回っている場合に限り検査を行います。放射線検査は病気の発見に必要な不可欠であるため医師の判断のもとで検査を行います。
検査を受けなかった場合、必要な情報が得られず病気を見つけられない可能性があります。

2、放射線検査による人体への影響

健康診断の放射線検査で受ける医療被ばくは少なく、人体に影響を及ぼすことはありません。
ただし胎児は放射線の影響を受けやすいと言われています。

当院では妊娠中または妊娠の可能性のある方は放射線検査の受診をお断りしています。

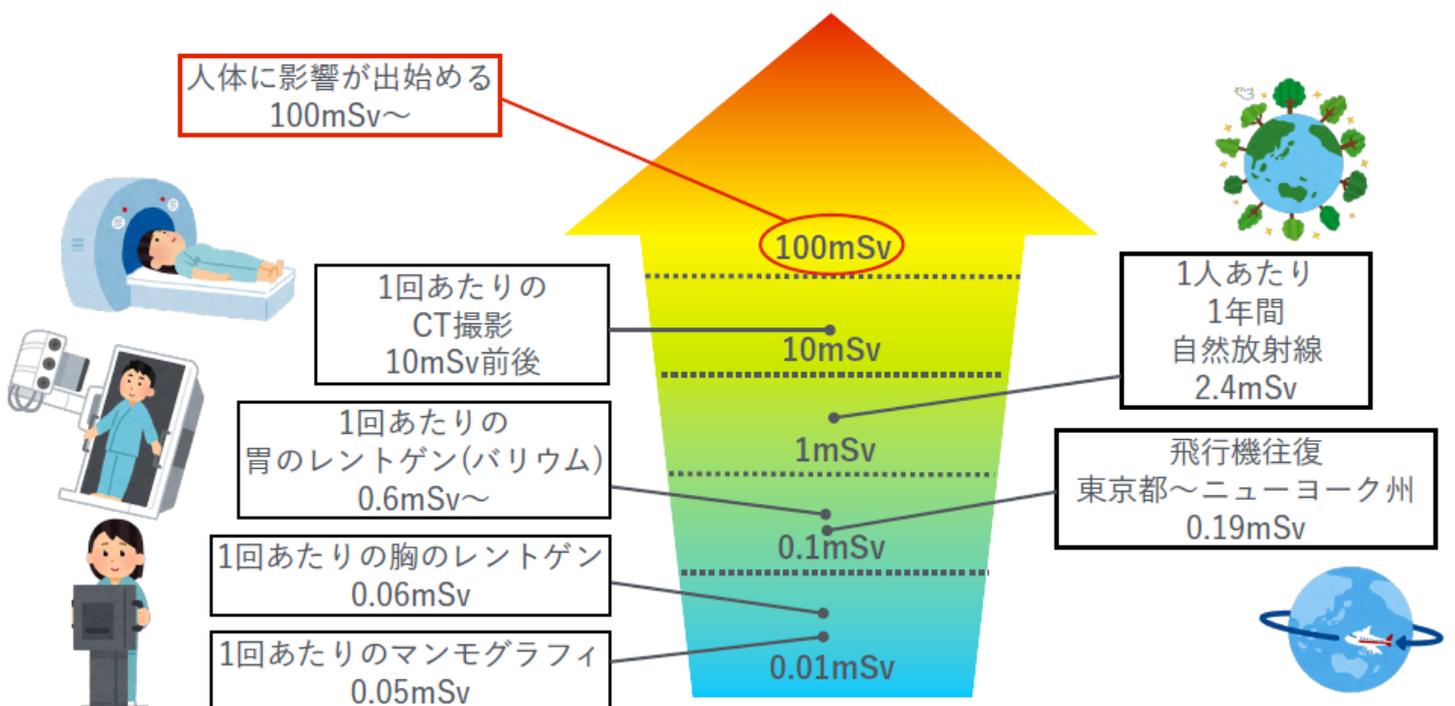
3、放射線検査の被ばく線量

放射線検査で想定される被ばく線量は、撮影する装置や部位によって異なります。

4、適切な検査を実践するための取り組み

当院では放射線検査を受ける方の被ばく線量が適切になるよう保守管理に努め、また外部の精度管理調査を定期的実施しています。

身の回りの放射線被ばくの目安（単位:mSv ミリシーベルト）



胃内視鏡（胃カメラ）検査をご受診の方へ

薬剤アレルギー・その他重篤なアレルギーのある方は、内視鏡室でお申し出ください。



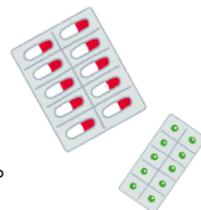
胃内視鏡検査時の注意点

1 食事 検査開始の10時間前までにお済ませください。

- ◇ 検査前日の21時までには食事はお済ませください。
- ◇ 検査当日は朝食を摂らずにお越しください。
- ◇ 当日の飲水(水、白湯)は検査開始の2時間前に200ml(コップ1杯程度)は摂っていただいて結構です。

2 内服薬

- ◇ 抗凝固薬、抗血栓薬、抗血小板薬を内服している方の病理組織検査(生検)は実施しておりません。事前に内服中止(休薬)していても病理組織検査(生検)を実施することはできません。その旨ご理解いただいた上での受診をお願いします。
- ◇ 朝に降圧薬を内服されている方は、朝6時迄にコップ1杯程度の水で内服をしてください。
- ◇ 糖尿病薬(インスリン注射含む)は当日の朝は中止してください。服薬された場合は低血糖となる恐れがあるため内視鏡検査を実施することができません。
- ◇ 喘息の吸入薬は通常通り使用してきてください。



3 追加検査について

- ◇ 必要に応じて病理組織検査(生検)、ピロリ菌検査をすすめられる場合があります。病理組織検査5,000円程度、ピロリ菌検査3,000円程度の別途費用のお支払いが発生します。

4 注意事項

- ◇ 事前の間診票と承諾書のご記入をお願いします。
- ◇ 当日は病院内視鏡室、健診内視鏡室のどちらかで検査を実施します。
- ◇ 土曜日は胃内視鏡検査の待ち時間が1時間程度かかります。ご了承ください。
- ◇ 経口または経鼻、鎮静剤(セデーション)の有無により順番が前後したり、お待ちいただくことがあります。
- ◇ 風邪症状(咳、痰)や喘息症状がある場合は検査を実施できないことがあります。
- ◇ 義歯、矯正具、コルセット等はお外しいたきます。
- ◇ 爪を覆うもの(付け爪、ジェルネイル、他装飾等)は事前にお外してください



指に器具を装着できない可能性があります。



下記の項目に該当する方は胃内視鏡検査を受けることができません。



- 当日の血圧が収縮期170mmHg以上もしくは拡張期100mmHg以上
- 体重が135kgを越えている
- 義歯をお取り頂けない場合や、ぐらついている歯がある
- 妊娠中または妊娠の可能性がある
- コロナウイルスに感染した日から4週間経過していない



鎮静剤(セデーション) 使用について

1. 鎮静剤を使用した内視鏡は、事前のご予約が必要となります。
当日のご要望には対応しておりませんのでご了承ください。
2. 鎮静剤使用の禁忌疾患 『急性閉塞隅角緑内障』
緑内障についてご心配な方はかかりつけの眼科医にご相談ください。

〈 鎮静剤使用の流れ 〉

- 前処置室で、のどの麻酔などを行い点滴をして内視鏡室に入ります。
- 検査前に鎮静剤の薬を点滴から入れて内視鏡を始めます。
 - ※ 鎮静剤は内視鏡による苦痛や反射を軽減する事を目的としており、必ず眠った状態で検査ができるとは限りません。
 - ※ 極度の緊張、寝不足、前日の飲酒等、当日の体調やご自身の体質により鎮静剤が効きにくいことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 検査が終了したら、鎮静剤の効果が切れる時間（約40～50分）まで、お休みいただきます。
 - ※ 鎮静剤の効果が切れたことをスタッフが確認してからお帰りいただきます。

〈 注意事項 〉

- 検査当日、ご自身で運転(自動車・バイク・自転車等)される場合は、
鎮静剤の使用をお断りしています。
- 当院では安全の為に投薬後24時間は、運転を控えていただくことを推奨しています。
- **75歳以上の方**は、安全面から鎮静剤の使用はできません。
- **70歳以上の方**は、医師の判断により、鎮静剤の使用を中止する場合がございます。
- 鎮静剤投与による副作用で呼吸が浅くなり、酸素の取込みが悪くなる場合があります。
呼吸器に持病がある方やかぜ症状で咳、痰の多い場合は当日ご相談ください。
- 鎮静剤を使用した方へは、当日の結果説明は基本的には実施しておりません。
結果に関しては郵送された結果票にてご確認ください。



採血・点滴・予防接種を受けられる方へ

『採血』や内視鏡の鎮静剤(セデーション) 使用時の『点滴針刺入』・『予防注射』は、細心の注意を払って行っておりますが、まれに偶発症が起きることがあります。

安全に検査を行うために下記の点についてご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。



下記に該当する方は検査前にスタッフにお申し出ください。

- ◇ 採血や注射でご気分が悪くなったことがある
- ◇ ラテックスアレルギーがある
- ◇ アルコール消毒に過敏症がある
- ◇ 止血用絆創膏でかぶれやすい
- ◇ 血液が止まりにくくなる薬を内服している
- ◇ 乳房切除手術を受けた
- ◇ 血液が凝集したことがある

ごくまれに以下のような偶発症の報告があります

偶発症	<p>① 止血困難・皮下血腫（採血周囲の色の変化）</p> <p>穿刺後の不十分な止血などが主な原因です。当センターでは止血用の包帯を使用した圧迫止血を行っております。 また、袖をまくりあげたときに腕を締めつけるような衣類は、出血が止まりにくくなるため ゆったりとした服装でお越しください。 十分な圧迫止血ができるようご協力をお願いします。</p>	An illustration of a person in a blue shirt holding their right arm, which appears to have a bandage or bruise.
	<p>② 神経損傷</p> <p>針を刺す際に末梢神経に触れることがあります。 皮膚表層の神経の走行は個人差が大きく、神経損傷を完全に防止することはできません。 穿刺時に指先へ広がるような痛み、しびれの症状がある際はすぐにお申し出ください。 症状は一過性のことが多く、ほとんどの場合3か月ほどで改善します。 約1万～10万回に1回の割合で起こるとされています。</p>	
	<p>③ 迷走神経反射</p> <p>針を刺した直後から終了後にかけて強い緊張や不安等でめまい・吐き気・意識消失などを引き起こすことがあります。安静にすれば数分で回復します。 体調がすぐれない方や、以前採血で気分不良を起こされた方は、ベッドでの採血をお勧めしておりますので遠慮なくお申し出ください。</p>	

再採血について

採血についてご不安なことがあれば
遠慮なく看護師にご相談ください！



針を刺しても採血出来ない場合や、1回の採血で必要量が採取できない場合には
針を刺す場所を変えて、再度採血させていただきます。

※これらの症状が起きて診察をした場合にかかる医療費は、通常の保険診療扱いとなります。

女性検診をご受診の方へ ①

● 子宮がん検診

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
子宮頸がん検査	子宮頸部（子宮の入り口）を、医師が専用のブラシでこすって細胞を採り、異常な細胞がないか顕微鏡で調べる検査です。	子宮頸がんだけではなく、卵巣のう腫や子宮筋腫、膣炎などの婦人科疾患がないかを確認することができます。
子宮体がん検査	子宮の中に医師が直接器具を挿入し細胞を採取してがんリスクを調べる検査です。器具を奥に入れるため、痛みを強く感じる場合があります。	結果は、陰性、偽陽性（子宮内膜増殖症）、陽性（子宮体がん）に分けます。陽性や偽陽性と判定された場合にはがんの可能性があるため、精密検査が必要です。

- ◇ 検査時、検査後に少量の出血がある場合がありますが、数日以内におさまります。
- ◇ 月経中に受けられますと月経血の影響で細胞の数が十分採取されないこともありますので、月経でない時期の受診をお勧めいたします。
- ◇ 性交経験のない方については、子宮頸がん検査を積極的にはお勧めいたしません。
- ◇ 子宮筋腫、卵巣のう腫等で経過観察が必要な場合や、不正出血等の気になる症状がある方は病院(婦人科)受診をお勧めします。
- ◇ 車椅子の方、介助が必要な方はお申し出ください。



⚠ 下記の項目に該当する方は子宮がん検診を受けることができません。⚠

- 体重が135kgを超えている
- ★ 妊娠中の方はかかりつけ医にご相談ください。



● 乳がん検診

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
乳腺超音波検査 (乳腺エコー)	ゼリーを塗った乳房の上からプローブという小さな器具を使い表面に超音波を当てて、乳房内の様子を画像化して調べる検査です。	乳房内の病変の有無、しこりの大きさ、わきの下など周囲のリンパ節への転移の有無がわかります。

- ◇ 20代～30代の方、乳腺密度の高い方に適した検査です。
- ◇ 放射線被ばくがないため、妊娠中の女性でも安心して検査を受けることができます。
- ◇ しこりや乳頭からの異常分泌など、気になる症状がある場合は専門医をご受診ください。



女性検診をご受診の方へ ②

● 乳がん検診

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
マンモグラフィ検査	乳房のX線検査のことです。 専用のX線装置で乳房を片側ずつ圧迫して均等な厚みにして撮影します。 一般的には上下・左右各2枚撮影します。	視診・触診では発見できない小さな腫瘍の有無やその大きさ・形、微細な石灰化の有無がわかります。

- ◇ 個人差はありますが、圧迫には多少の痛みを伴います。
(圧迫することで乳房内部を鮮明に描出するため)
苦痛が強い場合は我慢せずに担当技師にご相談ください。
- ◇ マンモグラフィ検査1回の撮影で乳房が受ける放射線の量は、東京からニューヨークへ飛行機で行くときに浴びる自然放射線の量のほぼ半分です。
ごくわずかな線量ですので体への影響はほとんどありません。



下記の項目に該当する方は
マンモグラフィ検査を受けることができません。



- 妊娠中、または妊娠の可能性がある
(マンモグラフィ検査で受ける医療被ばくは少なく、人体に影響を及ぼすことはありません。
ただし、胎児は放射線の影響を受けやすいと言われています。)
- 豊胸術、乳房再建術を受けたことがある ※脂肪注入以外
(圧迫による機器の損傷や不具合、生理食塩水バック等の破損が生じる可能性があります。)
- 植込み型ペースメーカーを装着している
- 植込み型心電計 (ループレコーダー) を装着している
- 植込み型除細動器 (ICD) を装着している
- 脳室—腹腔シャント術 (VPシャント手術) を行っている
- ポート埋込がある
- 持続グルコース測定器、またはインスリンポンプを装着している
(ただし主治医と相談の上、測定器を外していただければ検査は可能です。
当院スタッフによるセンサーの取り外しは行っておりません。)



～授乳中のマンモグラフィ検査について～

授乳中は、乳腺が発達して厚くなり全体が白く写るため、正確な診断が困難になります。
また、乳房を圧迫して強い痛みが生じたり、母乳が漏れ出る心配があるため、当院では授乳中のマンモグラフィ検査は行っておりません。授乳中の方には「**乳房超音波検査**」を推奨しています。

視力・眼底・眼圧検査をご受診の方へ

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
眼底検査	眼底カメラで瞳孔の奥にある眼底の血管や網膜、視神経を調べる検査です。	網膜剥離や眼底出血、白内障、糖尿病性変化などを調べることができます。
眼圧検査	目の表面にごく少量の空気を吹き付けて眼球内の圧力を調べる検査です。	高値の場合は、緑内障や高眼圧症が疑われます。

- ◇ 視力検査：眼鏡・コンタクトの持参をお願いします。
- ◇ 眼底・眼圧検査は、ハードコンタクトは外して検査します。
- ◇ ソフトコンタクトは通常外さず検査しますが、使い捨てコンタクトをご使用の方は予備レンズまたは眼鏡の準備をお願いします。



肺機能検査をご受診の方へ

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
肺機能検査	肺の中に空気を吸い込む能力と、吐き出す能力を調べる検査です。	肺の病気の診断、重症度を調べるのに役立つ、治療効果の判定に使われます。



下記の項目に該当する方は肺機能検査を受けることができません。



- 肺疾患外傷：気胸、血気胸、肺挫傷、肺壁損傷、肋骨骨折がある
- 過去1年以内に脳卒中を発症したことがある
- 妊娠中、または妊娠の可能性がある



腹部超音波検査をご受診の方へ

検査項目	どのような検査なの？	この検査でわかること
腹部超音波検査	超音波をあて、腹部の臓器（肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓）を中心に異常や疾患がないかを調べる検査です。	各臓器の状態や、結石・ポリープ・筋腫・腫瘍・炎症の有無などを確認します。

お食事ができるのは健診開始の10時間前までです。

(※お水は受付時間の2時間前まで摂取可)

- ◇ 検査中は、必要に応じて呼吸の調整や体の向きを変えていただきます。
- ◇ 身体に痛みがあったり、動作に不安のある方はお申し出ください。

